

治験管理センターだより

第15号

島根大学医学部附属病院治験管理センター発行(2006.12)

1、当院で治験を実施した薬剤が



当院で実施された治験薬：DD723（第2内科で実施）、GG084（塩酸レミフェンタニル・麻酔科で実施）、CI945（ガバペンチン・脳外科で実施）：がこのほど厚生労働省の製造承認を取得しました。被験者としてご参加いただいた患者様はじめ各診療科の責任医師、分担医師の先生方のご協力に感謝致します。

治験管理センターでは現在アルツハイマー型認知症、潰瘍性大腸炎、慢性関節リウマチ、脳梗塞再発予防、小児高インスリン血性低血糖症などの治験を実施中です。引き続きご協力の程宜しくお願い致します。

診療科情報の紹介

ここだよ！

治験管理センターのホームページに「診療科情報」が掲載されているのをご存知ですか？

これは当院での治験受け入れを促進するために治験依頼者へ各診療科において受け入れ・実施可能な疾患領域についての情報を提供するページです。定期的に各診療科へ内容の更新を照会しますので、ご協力をお願いします。この件についてのお問合せは治験管理センターまでお願いします。



こんなに入れなくても...



3、治験事務局からのお知らせ

—治験に関連して当該診療科に配分される研究費について—

臨床研究審査部会で承認され、病院長が実施の決定をした治験については、契約事務手続きを行い、治験の契約を締結後、治験に関連して当該診療科に研究費が配分されます。この研究費は、類似薬品の研究、対象疾病の研究などの経費として使用できます。

診療科に配分される研究費は「ポイント数×6,000円×症例数」として算出します。

本学の中期計画に法人化前の平成15年度をベースとして外部資金を10%増加させることが掲げられています。各診療科におかれましては、研究費を獲得するためにも治験の受け入れに一層努めていただきますようよろしくお願いいたします。（注）ポイント数・・・個々の治験については、要素ごとに

該当するポイントを求め、そのポイントを合計したものをその治験のポイント数として算出します。

4、治験の豆知識

【二重盲検法 (Double Blind Test)】

使用する薬物の内容を知ることによって患者と医師に心理的な偏りが生じるので、患者と医師両方にどちらの薬物を用いているかを知らせないで治験を行う方法です。欧米では盲検 (Blind Test) が差別用語だとして二重目かくし法 (Double Masking) が使用されています。

患者の反応性に生じた偏り、ならびに患者選択、補助療法、観測評価などに生じる医師側の偏りを排除する事ができます。患者には知らせず、医師は知っている場合は単盲検と呼ばれます。

よし！...これでわかったぞ！

